

「今を一生懸命に」と語る先輩達 教育実習生にインタビューしてみました!

- ①教科・科目
- ②錦城生時代の部活
- ③大学・学部

白井 咲耶先生



①化学
②放送部
③東京農工大学工学部
応用分子学科

大学では有機化学の研究をしていて、新しい化合物を作り出しています。化学はいろいろな分野がありますが、有機化学で世界に一つしかないものを作りたいです。

教師になろうと思ったのは、小さいころから教える機会が多かったから。化学の楽しさを伝えられる先生になりたいですね。授業では、教科書にないことを話すようにしています。その分野の楽しさを生徒に教えるために自分でも日々勉強中です。

みなさん、錦城には良い先生がたくさんいます。いっぱい頼ってたくさん学んでください。先生方のお陰で私は今ここに帰ってきています。

星 智子先生



①数学
②吹奏楽部
③首都大学東京都市教養学部
数理科学コース

高校生活は、部活が忙しく、勉強との両立が大変な毎日でしたね。やるべきことが次から次へと出てきて目の前のことをこなすのに必死で……。ですが、とても充実していました。

実習では、数学を教えています。中学校までは数学が得意ではありませんでした。ただ、高校に入ってから好きになって……。それで、数学をもっと勉強して、数学の先生になりたいと思うようになりました。現在、大学では素数の研究をしています。

錦城高校生活は忙しい毎日ですが、しっかり寝て、しっかりご飯を食べるようにしてください。健康的な生活も大切です!

中学の頃は野球部、高校ではハンドボール部に所属していました。ともにキャプテンを務め、後輩に指導するうちに教えることのやりがいを感じて「先生になりたい」と思うようになりました。

大学では、主に「いかに歴史を今と結びつけ、それで未来を作れるか」ということを学んでいます。大学には高校に比べてたくさんの方がいるから、色々な人と関わり色々な経験を積むことで、人との関わり方が上手になりますよ。

勉強のコツは、「量より質」です。特に錦城生は時間がなくて、長時間だらだらやるより短時間集中してやったほうが自分の力になります。限りある時間を全力で楽しんでいきましょう!!

奥田 修平先生



①世界史
②ハンドボール部
③早稲田大学教育学部社会科
地理歴史専修

元々社会が好きだったんです。歴史は色々な事象が繋がってできていて、それを理解することで一本の大きな歴史の軸を掴める気がします。日本史に関していうと、根幹は教科書。事前に教科書を読んで理解できない部分の空白を埋める、その補助するのが授業だと僕は思っています。

錦城生活の心残りは部活を引退した後から本格的に受験に向けての勉強を始めたこと。これから受験を迎える人には、合格不合格よりもまず、全部が終わった時、「あれだけやったなら仕方ない」と思えるくらいに、後悔をしないように取り組んでほしいです。やれば結果はついてきます。国立も私立もどちらも受験したので、何か知りたいことがあればぜひ聞きに来てください。

池増 大樹先生



①日本史
②野球部
③東京学芸大学教育学部
中等教育社会専攻

鈴木 健太先生



①数学
②野球部
③立教大学理学部数学科

自宅から錦城まで電車で移動時間が長いので、よく本を読んでいます。東野圭吾の作品が好きで、特に「時生」は読み終わりがすっきりしてオススメです。

数学の教師を志したきっかけは、高校での数学の授業。「こんなにわかりやすく面白い授業が出来たら、数学が苦手な人にも面白さを伝えられるなと思いました。数学の魅力は、答えは一つなのにアプローチの仕方はいくらかもあるところ。教育実習中の授業について、生徒が理解しているのか、先に進めて良いのか復習した方が良いのか、わからず難しいです。ですが、「数学が苦手ですが、先生の授業はとて分かりやすかったです」と生徒からの感想をもらって、嬉しくて泣きそうになりました。

高田 智也先生



①政治経済
②軽音楽部
③中央大学文学部人文社会学科
日本史専攻

中学の頃は歴史が嫌いだったのですが、エンターテイナーのような歴史の先生に教わるうちに歴史が好きになりました。どんなときも生徒のことを考えて、生徒に寄り添っていただける先生になりたいです。

趣味は体づくりで、週2くらいジムに通っています。朝食のメニューを工夫するなど、食事には特にこだわっています。

勉強のコツは、小テストや課題などやるべきことは完璧にこなすこと。大学の選択肢が広がるし「努力」をするスキルも身につきますよ。

人生のなかでも錦城での生活が一番楽しかったです。後悔するのは大人になってからなので、勉強も部活もどんなことも今を全力で頑張ってください!

中学2年生のとき同じクラスで仲よかった友達に勉強を教え「わかった!」と喜んでくれたことがありました。そのとき教えることが楽しいと思え、得意な英語科の教師になりたいと思いました。授業では自分が理解していることをわからない人の立場でわかりやすく説明することが難しいです。深く興味を持ってもらえるように、その教材の内容の予備知識を紹介したりして、英語の授業を楽しませられる教師になるのが目標です。

錦城生時代はもののけ姫のアシタカに憧れて、弓道部に所属していました。弓道は今でも続いています。

勉強のコツはノートの取り方などで自分ルールを作り、勉強しやすい環境を整えること。まずは目標を明確にし、一日一日を大切にしてください。

杉岡 駿先生



①英語
②弓道部
③立教大学文学部英米文学専修

錦城高校での思い出はたくさんありますね。3年生の錦城祭で劇をしたり、球技大会でクラス一丸となって戦ったり……。放課後、学校に残って友達と受験勉強をしたことも思い出深いです。

国語は、自分では思いつかない世界の見方を知ることができるので好きです。文章が難しくても、読めば腑に落ちるところも面白いと思います。

授業を実際に行ってみて、とても大変だと思いました。自分が理解していることを、他の人に説明するのは難しかったです(汗)。早く緊張せず授業できるように頑張ります!

3年生は勉強が大変だと思いますが、何を学びたいかが重要なので、名前だけで大学を決めず、目標に向かって頑張ってください。

岡本 夢純先生



①現代文
②室内楽部
③明治大学文学部文学科
日本文学専攻

福江 幸喜先生



①英語
②映画研究部
③東京外国語大学言語文化学部
英語専攻

錦城で思い出深かったことは、映画研究部で錦城小平移転50周年企画の「錦城の歴史」というビデオを編集したこと。英語は、使えるようになるのもっと楽しい生涯使えるスキル。苦手なら、何かを知るために英語を使うようにするのがオススメです。例えば映画でも本でも、興味があることや好きなことに関する英語を調べてみてください。

高校生のうちにやっておくといことは3つ。部活とかクラスとかで色々な人と知り合いになること、いつでも思い出せるよう写真を撮っておくこと、しっかり勉強しておくこと。大学は勉強するところなので、高校の勉強で、基礎が固まっているとより深いことに気づけて楽しくなります。今頑張ることは無駄になりません。勉強頑張ってください!

山田 泰寛先生



①保健・体育
②硬式テニス部
③東海大学体育学部体育学科

家族全員、金魚と熱帯魚が好きで、金魚3匹と熱帯魚のディスカス、アリゲーターガー、アロワナなどを飼っています。食べ物はアイスクリームが好きで、幸せな気分になるので夏冬問わずよく食べています。

自分が錦城生だったときに郷野先生に出会い、こんな人間になりたいと思ったことが教師を目指すきっかけです。

授業では生徒に動いてもらえる指示を出すことが難しく、大きな声で話すように心がけていますが、もっと生徒への指導が上手い教師になりたいと思っています。体育を楽しむためのポイントは、テレビでも生でもいのでスポーツを見て、興味を深めることです。学校行事などで思い出を作って良い高校生活を送ってください。

後夜祭に出る団体、募集しています!!

締め切り：6月26日(月) 提出場所：職員室前の後夜祭BOX

注意事項

- ・記入漏れ、ダブルエントリー、締め切りをすぎた場合は無効
- ・オーディションは、7月14日(金)
- ・募集用紙は、職員室前の後夜祭BOXの隣にあります

放送部	映画研究部
▽6月4日(日)	▽6月4日(日)
第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト	第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト
制作ラジオドラマ部門	制作テレビドラマ部門
【COLOR】 都大会決勝進出	都大会決勝進出

大会報告

「部員が足りない……」「もっと知名度を上げたい!」などなど、思っている部長・部員の皆さん! 錦城新聞に載って、広報してみませんか?取材を受けたい部活は、新校舎7階生徒会室または近くの編集部員まで!

空手道部	女子ソフトボール部	朗読部
▽6月10日(土)、11日(日)	▽6月11日(日)	武藤 七海(3J)
第46回 関東高等学校空手道大会	第69回 全国高校総体女子ソフトボール大会(東京都予選大会)	宮井さくら(2B)
団体女子 組手の部	敗退	小川 七海(2J)
1回戦敗退		都大会決勝進出
2回戦敗退		

生徒会動静

5.17~6.13

5月17日(水) 生徒総会
6月9日(金) 図書委員会
毎週火曜日 中央委員会

2020東京オリンピック競技大会等に向けて、東京都に在住・在学・在勤している選手が東京都アスリート認定選手に選ばれた。昨年度認定された選手は301名。小平市からは7人が選出され、その中の一人、高校2年生の杉本隆大くんが取材された。

日本大学豊山高等学校に在学している杉本くんは、東京都フエニング協会推薦のフエニングの認定選手だ。小学4年生の頃、フエニング部に入っていた兄が実際にプレーをしている姿を見たことが、フエニングを始めたきっかけだったという。

フエニングには、フルレ、エ、セ、サールの3種目があり、中でも杉本くんはサールの選手だ。サールは他の2種類と違い、突きに加えて斬りも可能な種目で、「戦術とダイナミックさが魅力」だそう。杉本くんは、前半は相



華麗な突きをする杉本くん(奥)(本人提供)

「部員が足りない……」「もっと知名度を上げたい!」などなど、思っている部長・部員の皆さん! 錦城新聞に載って、広報してみませんか?取材を受けたい部活は、新校舎7階生徒会室または近くの編集部員まで!

日々の積み重ねが一番という信念をもって、日曜日以外の週6日間練習をしている。その際、自分の癖を出さないことや、改善すべきところを意図的に意識すること、小さい目標を設けているそうだ。

昨年駒澤オリンピック公園体育館で行われたIOCジュニアオリンピックカップカデにアオリンピック出場という夢を叶えてくれた。

杉本くんは「地元である東京で行われるオリンピックに出たい、みんなに応援してもらいたい」という思いで、2020東京オリンピック競技大会出場に向けて意気込み。

オリンピック出場という夢に向かって練習している杉本くんは、夢を叶えるために必要なことについて聞くと「楽しくやり続けることが大事。それが無いとどんな練習もやらない」と答えてくれた。

小平からオリンピックピックを目指す高校生

2020東京オリンピック競技大会等に向けて、東京都に在住・在学・在勤している選手が東京都アスリート認定選手に選ばれた。昨年度認定された選手は301名。小平市からは7人が選出され、その中の一人、高校2年生の杉本隆大くんが取材された。

日本大学豊山高等学校に在学している杉本くんは、東京都フエニング協会推薦のフエニングの認定選手だ。小学4年生の頃、フエニング部に入っていた兄が実際にプレーをしている姿を見たことが、フエニングを始めたきっかけだったという。

フエニングには、フルレ、エ、セ、サールの3種目があり、中でも杉本くんはサールの選手だ。サールは他の2種類と違い、突きに加えて斬りも可能な種目で、「戦術とダイナミックさが魅力」だそう。杉本くんは、前半は相